

ACANTHUS NEWS



「アカンサス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

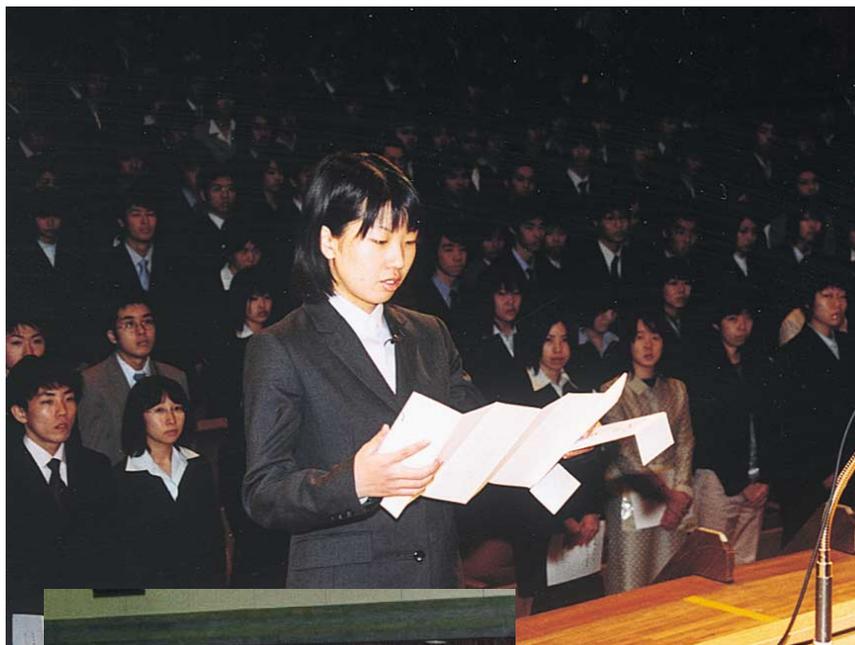
平成14年 **2002.5**
月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第68号

TOP NEWS

入学宣誓式を挙る

4月7日、金沢市観光会館で学部等の入学宣誓式、続いて医学部十全講堂で大学院の入学宣誓式がそれぞれ挙行された。

また、4月25日、事務局大会議室では今年度設置された大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程等の入学宣誓式が挙行された。[学長告辞及び関連記事は2頁、3頁に掲載]



入学宣誓する学部等の入学者代表
=4月7日、金沢市観光会館で



入学宣誓する大学院の入学者代表
=4月7日、医学部十全講堂で



入学者に告辞する林勇二郎学長
=4月25日、事務局大会議室で

学長告辞

学業・生活・社会文化の空間で自己形成に努めよ

平成14年度入学宣誓式における学長の告辞

本日ここに1,939名の新入生を迎え、平成14年度金沢大学入学式が挙行されましたこと、誠に慶賀に存じます。新入生の皆さんおめでとうございます。本学への入学を心より歓迎いたします。

金沢大学は、文久2年（1862年）の加賀藩の彦三種痘所を源流として、昭和24年（1949年）に新制の総合大学として設立されました。これまで約7万人の卒業生を輩出し、我が国の高等教育と学術研究の発展に大きな貢献を果してまいりました。そして53年の歴史を歩んだ今、諸君の入学した金沢大学は大きく変わろうとしています。

戦後の我が国の教育システムは、初等・中等・高等教育の課程を6・3・3・4年制とする、単線型でかつ画一的な仕組みに設計されました。国民に対する教育の機会均等は、高校の進学率を98%、短大・大学を50%とする世界に類を見ない教育基盤を確立し、これによって我が国は驚異的な高度経済成長を遂げました。しかし、「ジャパン・モデル」ともはやされた80年代の我が国経済は、グローバル化の流れの中で失速し、企業にあつては倒産や、リストラなど、今も低迷し続けているところ です。

「失われた10年」と呼ばれる90年代は、まさにグローバル化による経済の流れの大きな転換期であったと言えます。西洋に追いつき追い越せの戦略はもはや通用しませんし、人類が成長の限界にある国際社会において、独り勝ちは許されません。大切なのは協調的競争です。相手を理解し自己を主張する協調的競争こそ21世紀に問われることであり、それは熾烈な競争と言えます。



我が国では今、多くの構造改革とともに教育改革、大学改革が進められており、その一環に国立大学の法人化があります。法人化の意図するところは、大学運営に対する国の関与を減らし、自主・自律と多様な個性を持つことで、学術文化の創造と継承を担う高等教育の活性化を促すことにあります。そしてそこでは、大学における教育、研究、社会貢献などの実績が評価され、それによって運営資金が配分される競争原理が導入されることとなります。

このような競争は諸君にも求められます。諸君を待ち受けている社会は、学歴、終身雇用、年功序列といった日本型の雇用形態はもはや成り立たず、能力と実力主義にもとづく競争社会です。「エンプロイアビリティ」という言葉が使われ始めていますが、これは雇用のemployと能力のabilityの合成語です。企業の倒産やリストラが続くなかで転職もあり得ますが、諸君の職業や進路を自ら決定していくキャリアプランのためにも、エンプロイアビリティが求められることになりましょう。

本学は今、学生諸君がそれぞれの個性を高め、真に実力をつけるための教育の在り方を中心に、大学改革を積極的に進めています。そのために大学そして教官は何をすべきか、また学生はどのように学ぶべきかを議論し、できることから実行に移しているところです。教官がなすべきことをファカルティ・ディベロップメントFD、学生自らが努力することをスチューデント・ディベロップメントSDと呼んでいます。教育の主体が学生にある以上、SDこそ重要であることは言うまでもあ

りません。

スチューデント・ディベロップメントは、諸君がこれから大学で学び、友人と付き合い、4年間の学生生活を送ることで自己を発達形成させることです。このようなSDの場には学業空間、生活空間、社会文化空間があります。学業空間は、諸君が講義を受け、また自ら学習し、必要な単位を取ることによって教養や専門に関わる知識と能力を獲得する場です。諸君はまた、県民・市民として生活することで、社会の規範を学び行動することになります。アルバイトやボランティアの活動は、市民としての擬似的な社会体験であり、これらはすべて生活空間で培われることになります。そして社会文化空間では、読書や趣味を通して知の情報との触れ合い、キャンパスでのサークル活動や市民団体と交流し、さらには土地の歴史や文化を体験していただきたいと存じます。

これまでの初等・中等教育の時代は、流れに喩えれば、学習指導要領などで拘束された狭い管路の流れであり、それは一人一人の粒子が整然と揃った層状の流れです。管路が拡大



する大学では、それまで抑えられていた粒子のゆらぎが一挙に増幅され、乱れた流れとなります。諸君は、学業、生活、社会文化の空間で、一人一人に潜在する素質を発現させ、自己の形成に努めていただきたい。そしてそれらを集合したアクティビティの高いタフな流れとすることで、我が国を21世紀の国際社会に貢献し主張できる国とすることを期待します。

角間の山々や小立野台地の草木が萌動し、浅の川は蒼き流れをたたえて、諸君の今日の入学を歓迎しています。伝統と歴史を維持し、新しい学術・文化が発展する学都・金沢で学ぶことを誇りとし、自分たちの努力に大学の発展があることを自覚し、美しく実りのある青春の刻を刻んでいただきたい。このことを祈念し告辞いたします。

平成14年度 金沢大学入学者数			
1 学部			
文	学	部	180名
教	育	学	220名
法	学	部	230名
経	済	学	208名
理	学	部	201名
医	学	部	301名
薬	学	部	85名
工	学	部	474名
合 計			1,899名
2 専攻科			
特	殊	教	育
特	別	専	攻
科			13名
3 別科			
養	護	教	諭
特	別	別	科
			27名
平成14年度 金沢大学大学院入学者数			
文	学	研	究
科	修	士	課
程			27名
教	育	学	研
究	科	修	士
課			37名
法	学	研	究
科	修	士	課
程			13名
経	済	学	研
究	科	修	士
課			9名
医	学	系	研
究	科	博	士
前	期	課	程
			70名
自	然	学	科
研	究	科	博
士	前	期	課
程			500名
医	学	系	研
究	科	博	士
課			100名
医	学	系	研
究	科	博	士
後	期	課	程
			29名
社	会	環	境
科	学	研	究
科	博	士	課
程			16名
自	然	学	科
研	究	科	博
士	後	期	課
程			91名
合 計			892名

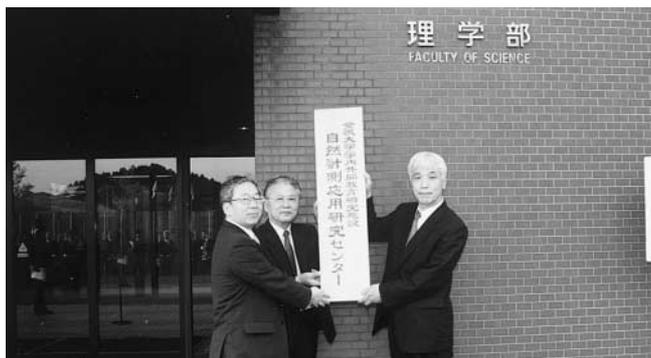
目次

入学宣誓式を挙行……………	1	平成14年度学生相談研修会……………	8
学業・生活・社会文化の空間で自己形成に努めよ		春の叙勲受章の方々（本学関係分）……………	9
平成14年度入学宣誓式における学長の告辞……………	2	第42次南極地域観測越冬隊員 帰朝報告会ひらく…	9
「自然計測応用研究センター」の設置を祝う……………	4	本学へのお客さま……………	10
「MEX金沢2002」に出展……………	4	経済産業省平成14年度提案型技術開発事業	
大島事務局長就任あいさつ……………	4	（委託費・補助金）に関する説明会……………	10
研究費、きびしい評価に基づき配分		第53回金沢大学暁烏記念式・記念講演会……………	11
ーイギリスの大学評価の現状ー……………	5	ミニ講演会 校歌の中の子も像とふるさと像……………	11
金融システム論と日本社会の変化……………	5	理系標本展示 地球史をいろいろ化石たち	
補完代替医療学講座の開講を記念して		ーさまざまな時代の絶滅生物ー……………	11
市民公開講座をひらく……………	5	はじめよう！里山保全ワーキングホリデイ	
埋蔵文化財調査センターの仕事……………	6	「里山フェスティバル」で学長があいさつ……………	12
新任教官説明会……………	8	キャンパス点描……………	12
新規採用者研修……………	8	編集後記……………	12

ニュースの杜

「自然計測応用研究センター」の設置を祝う

5月1日、学内共同教育研究施設の「自然計測応用研究センター」が設置されたことに伴う表札上掲式及び設置記念祝賀会がひらかれ、林学長をはじめ金岡千嘉男自然計測応用研究センター長、大島事務局長ら学内関係者が多数出席し、表札上掲式に続き、記念祝賀会を開催した。



右から林学長、金岡センター長、大島事務局長
＝理学部正面玄関で

「MEX金沢2002」に出展

4月18日から20日までの3日間、約6万人の来場者を迎え、MEX金沢2002（第40回機械工業見本市金沢）が石川県産業



技術相談に応じる廣瀬共同研究センター長
＝4月18日、石川県産業展示館で

展示館で開催され、例年どおり本学共同研究センターが出展した。

今回は、科学技術相談のほか、「ステレオ画像処理による3次元認識システム」の実演紹介を出展の目玉とし、多くの来場者の質問に答えた。



「ステレオ画像処理による3次元認識システム」を
実演紹介する工学部藤原研究室の大学院生
＝4月18日、石川県産業展示館で

大島事務局長就任あいさつ



あいさつする大島事務局長
＝4月2日、事務局大会議室で

4月1日付けで兵庫教育大学から金沢大学に転任した大島有史事務局長は、4月2日、事務局で職員に対する就任のあいさつを行い、「独立行政法人化に向け、アイデアを出していただき、一緒に進んでいきたい。また、守るべきものをしっかり守って、その土台の上に新しい金沢大学を築き、かつ、地域の文化と学問の府をお互いに生かしながら本学の発展に努めたい。」と述べた。

ニュースの杜

研究費，きびしい評価に基づき配分 —イギリスの大学評価の現状—

4月5日，事務局大会議室で大学改革推進室主催による特別講演会が開催され，約80名の教職員がシェフィールド大学エイドリアン・ハイド博士の「イギリスにおける 大学教育・研究の水準査定」と題する講演に耳を傾けた。



流暢な日本語を併用し
講演するハイド博士

ユーモアを交えた講演に聞き入る教職員
＝事務局大会議室で

金融システム論と 日本社会の変化

4月17日，教養的科目「金融システム論と日本社会の変化」の講義が始まり，日銀の鈴木茂金沢支店長が第1回目を担当した。学生に金融システムの問題点と課題をより深く理解してもらうのが目的で，鈴木支店長を中心に地域の金融機関のトップが授業を担当する。全学部対象の授業で，約50名の学生が最近の金融機関の動向等に関する講義を熱心に受講した。



講義する鈴木日銀金沢支店長
＝総合教育棟C4教室で

補完代替医療学講座の開講を記念して市民公開講座をひらく



準備・運営した本学スタッフ
＝金沢市文化ホールで

4月20日，大学院補完代替医療学講座の開講を記念して市民公開講座が金沢市文化ホールで開かれ，健康食品や癒し口ポットなど，西洋医学を補う医療について，研究者らが分かりやすく解説した。



講座を聴講する市民
＝金沢市文化ホールで

埋蔵文化財調査センターの仕事



キャンパス内の埋蔵文化財調査のため、平成9年に設立しました。工事前、発掘調査を行います。工事期間に支障がないように、雪の中でも調査は続けられます



出土する遺物のうち最も多いのは陶磁器です。木製品や金属製品は壊れないよう注意して取り上げた後、状況に応じて保存処理が必要となります。



野外作業終了後、工事に入ります。埋文センターでは、室内作業の始まりです。



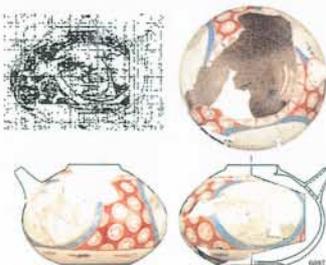
出土遺物は、特殊な場合をのぞき、水洗いします。



遺物に出土場所や層位などを書き込みます。



報告書作成には、文献調査、遺跡や遺物の化学分析など、考古学以外の各分野の専門家との共同研究が必要です。



報告書作成のため、遺物は実測して図化します。



発掘調査とは野外作業のみならず、その後の研究、報告書作成、出土品の整理収蔵管理、公開の責任を負うものです。

調査遺跡

- 平成 9年度 角間遺跡一乗寺跡地点
宝町遺跡配管トレンチ
宝町遺跡病棟Ⅰ 精神科病棟Ⅰ地点
- 平成10年度 宝町遺跡包み込みの森98地点
宝町遺跡中央設備室地点
宝町遺跡保健学科校舎Ⅰ地点
宝町遺跡病棟Ⅱ地点
宝町遺跡保健学科校舎Ⅱ地点
宝町遺跡保健学科校舎Ⅰ 基幹整備地点
宝町遺跡配管立ち会い
- 平成11年度 宝町遺跡医学部グラウンド地点
角間遺跡第2調整池南地点
宝町遺跡配管立ち会い
宝町遺跡精神科病棟Ⅱ地点
- 平成12年度 養護学校試掘
宝町遺跡地下油槽地点
宝町遺跡配管立ち会い
- 平成13年度 宝町遺跡保健学科校舎Ⅲ地点
宝町遺跡受水槽
宝町遺跡中央設備室Ⅱ地点
宝町遺跡配管整備(7地点)/立ち会い



角間遺跡一乗寺跡地点



宝町遺跡病棟Ⅰ



角間遺跡第2調整池南地点



養護学校試掘



宝町遺跡中央設備室Ⅱ地点



宝町遺跡保健学科校舎Ⅲ地点

金沢大学角間遺跡

一乗寺跡と、第2調整池南の2地点からなる。一乗寺跡は、平安時代の寺院跡と考えられ、寺や一乗と墨で書かれた土器が出土している。また全国でも珍しい、中国の越州窯製青磁水注が出土した。学生寮建設予定地であったが、建設計画変更のため遺跡調査は中断、埋め戻されている。

第2調整池南地点からは、縄文時代と平安時代の遺構が見つかった。縄文時代、狩りにやって来たのかキャンプ跡とみられる遺構や、壊れた土器をまとめて捨てた場所が見つかった。平安時代の遺構は、一乗寺跡と同時期のものと思われる。墓の可能性のある周溝のある穴や柵列、直径30センチもある柱を立てた跡、土師器の集中廃棄場などが見つかった。このような周溝墓は北陸でも前例のないもので、現在、部分的に遺跡の埋め戻し保存を希望している。



金沢大学宝町遺跡

医学部前身の医学校時代の遺物も含め、大量の病院関連の陶磁器や医療器具が出土した。江戸時代、この地は与力町で、絵図にあるのと同じ町割りが発掘により明らかとなった。また絵図と一致する名前の書かれた遺物をはじめ、大量の生活用品としての陶磁器が出土した。他の土地と比べることで、加賀藩与力の生活がいつそう明らかになる。

保健学科地区には、昭和45年代まで金沢刑務所(金沢監獄)があった。赤煉瓦の高く長い塀を知る人は多い。保健学科地点では、中央看守所とそこから放射状にのびる房舎、刑務所内工場が発掘された。明治村に中央看守所の上屋が移築されている。刑務所時代以前は、士族の屋敷があったことが絵図で判り、生活道具が出土している。しかし、土取の場所として粘土を採取した時期があったようで、江戸時代の遺構が削平され、遺跡からの情報が消えてしまっている部分もあった。ジグソーパズルを一片ずつ繋ぐように、発掘により細かな地域の歴史が明らかになる。

(埋蔵文化財調査センター NEWS LETTER (VOL.1) から転載)

研修会等

新任教官説明会

4月8日、事務局で新任教官説明会が開催され、54名の教官が出席した。学長、各副学長、事務局長及び事務局各部長から、本学の現状と課題、教育課程及び教育体制、学術研究の体制、本学の組織運営、国立大学の予算及び会計、学生の厚生補導、公務員の服務及び研究協力制度等について説明が行われた。



現状と課題及び国立大学の法人像について説明する林学長
＝事務局大会議室で



自己紹介する受講生
＝4月10日、事務局第一会議室で

新規採用者研修

4月10日から12日まで、新たに採用された職員21名に対する新規採用者研修が実施された。



研修会では、大学の沿革、課題と取組み、職員としての心構えや服務、倫理などの説明が行われた。また、総合移転地、医学部附属病院新病棟等を見学した。

開講式であいさつする大島事務局長
＝4月10日、事務局第一会議室で

平成14年度学生相談研修会

4月3日、教養教育運営委員会教務・学生委員会が主催して、「平成14年度学生相談研修会」が総合教育棟会議室で行われた。この研修会は学生相談を担当する大学院生と教官を対象として実施されたもので、相談の充実を図るため、専任カウンセラーや精神科医の講義、「話しの聞き方」の実習と活発な意見交換も行われた。



「話しの聞き方」等の実習を行う大学院生と教官
＝総合教育棟会議室で

トピックス

春の叙勲受章の方々（本学関係分）

4月29日、平成14年春の叙勲受章者が発表され、本学関係では、次の8氏が栄えある叙勲を受章した。
（敬称略）

勲三等旭日中綬章

やま だ りょう
山 田 梁
名誉教授，元法文学部長

やま むら かつ ろう
山 村 勝 郎
名誉教授，元経済学部長

うめ だ りょう ぞう
梅 田 良 三
名誉教授，元医学部附属病院長

勲三等瑞宝章

かわ くち つね こ
川 口 恒 子
名誉教授，元教育学部教授

た だ ち よ
多 田 千 代
元教育学部教授

わ ざ かず きよ
和 座 一 清
名誉教授，元法学部教授

勲四等旭日中綬章

もり し ろう
森 次 郎
元事務局長

勲六等宝冠章

もう り こま え
毛 利 駒 江
元医学部附属病院副看護部長

第42次南極地域観測越冬隊員 帰朝報告会ひらく

4月11日、工学部秀峯会館中会議室で、第42次南極地域観測越冬隊に参加し、1年半の勤務を終えて3月末に帰国した久保栄技術専門職員（技術支援センター）による帰朝報告会が開催され、子ども連れの家族を含めて学内外から70名近くの参加者があった。



南極から帰国報告
（左から）工学部 廣田清事務長
工学部 久保栄技術専門職員
=4月2日，学長室で



満席の会場で報告する久保氏（円内）
=4月11日，工学部秀峯会館中会議室で

学長室等から

本学へのお客さま



(中央) 中国科学院地質・地球物理学研究所曾栄樹研究員
(右から4人目) 大村理学部長
(左から2人目) 理学部柏谷教授
=4月18日, 学長室で



中国大連市訪問団と本学関係者
=4月22日, 学長室で



米国ニューヨーク州立大学バッファロー校訪問者と学内関係者
(左から4人目) ローナ・ケーデンヘッド国際教育部
海外留学課海外留学アドバイザー,
(同5人目) ジェニファー・チェイズン留学生・客員教授留学生アドバイザー



(左) 英国シェフィールド大学土木工学科上級講師
エイドリアン・ハイド博士
(右) 工学部山崎光悦教授
=4月5日, 学長室で

経済産業省平成14年度提案型技術開発事業 (委託費・補助金)に関する説明会

4月19日, 共同研究センター等の共催で経済産業省の補助金等に関する説明会が工学部秀峯会館で開催され, 教職員及び学外企業関係者等約60名が出席した。

説明会では, 中部経済産業局の星野章産業技術課長が「産学官連携の主な助成施策」の概要と提案(申請)にあたってのポイントについて解説した。



申請のポイントについて解説する星野中部経済産業局産業技術課長
=工学部秀峯会館で

サテライト・プラザ

第53回金沢大学暁烏記念式・記念講演会

4月27日、通算で53回目となる「暁烏記念式・記念講演」を金沢大学サテライト・プラザで開催した。この行事は、石川県松任市出身の宗教家暁烏敏（あけがらす はや）師が、創設時の金沢大学に対して約5万冊の図書を寄贈されたことを記念し、師の遺徳を偲ぶために毎年行っているもので、今年は昨年に引き続き学外で開催し、市民を含む75名の参加があった。

式典では、畑安次副学長、和田敬四郎附属図書館長、暁烏照夫氏（暁烏家当主）のあいさつに続き、暁烏敏自筆の書画等を約70点寄贈された東京杉並区在住の大橋和臣氏に対して感謝状が贈呈された。

式典に続いて、詩人・エッセイストとして高名な松永伍一氏が「暁烏敏の詩集『迷の跡』をめぐって」と題して記念講演した。なお、4月26日から5月16日まで、暁烏敏ゆかりの品の特別展示会を開催した。



特別展示会
=大学・市民交流サロンで



大橋正臣氏に感謝状を手渡す畑副学長
=金沢大学サテライト・プラザ（3階）で

ミニ講演会 校歌の中の子ども像とふるさと像

4月20日、金沢大学サテライト・プラザで一般市民を対象にミニ講演会が開かれ、約40名が聴講した。浅野秀重大学教育開放センター助教授が「校歌の中の子ども像とふるさと像」と題して講演した。特に校歌を活用したふるさと教育の必要性を強調した。



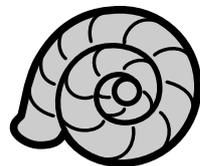
講演する浅野助教授
=金沢大学サテライト・プラザ（2階）で



=大学インフォメーションセンター（1階）で

理系標本展示 地球史をいろどる化石たち —さまざまな時代の絶滅生物—

今回は、石川県産出の化石を含む地球科学関係の化石標本の一部を展示している。



**はじめよう！里山保全ワーキングホリデイ
「里山フェスティバル」で学長があいさつ**

4月21日、「はじめよう！里山保全ワーキングホリデイ」をスローガンに、石川県と金沢大学「角間の里山自然学校」が主催して「里山フェスティバル」が行われた。林学長はあいさつの中で、「石川県と金沢大学、県民のみなさまと金沢大学が太いパイプで結ばれるのを契機に、みなさまから一層親しまれる大学づくりにさらに努めてまいりたい。」と決意を述べた。



角間キャンパスの標柱
(総合教育棟駐車場付近)



階段づくりに汗を流す林学長(右から2人目)と谷本知事(同3人目)
=奥卯辰山健民公園で

キャンパス点描

特別天然記念物 カモシカ



4月23日午後4時頃、角間の里山ゾーンで

編 集 後 記

本紙の役割は、毎月ホットなニュースを皆様にコンパクトに提供することでありますが、今月号は入学式の学長告辞風景、新メンバーの加入に伴う研修会、本学にとって有意義(有益)な講演、行事等の大学のようすを収録してあります。スタッフ一同の苦心がうかがえます。

学問の府である大学にとって、昨今、時代の要請・変化による適切な対応が強く求められておりますが、その変化に大学が前向きに努力している様子を各人が情報発信するよう考えて行きたい……と念じています。

今後とも、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

(総務部長 湯口太多史)

平成14年5月17日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5009
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(愛称“KUPIS”(キューピーズ))
(アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>)でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。